



福祉だより

第35号 令和元年9月15日
発行
社団法人 **弘前市社会福祉協議会**
〒036-8063
弘前市大字宮園二丁目8-1
代表 ☎ 33-1161
ホームページ <http://www.hirosaki-shakyo.jp/>

つながる笑顔と笑顔

第42回愛の広場レクリエーションの集い

7月5日、青森県武道館において愛の広場レクリエーションの集いが開催されました。

この事業は、障がい児者がボランティアと一緒にレクリエーションを通して楽しく交流を深めることにより、活動意欲を持ち、社会生活に融合することを願い実施され、今年で42回を迎えました。

今年は初めて平日開催となり、参加者数が心配されましたが、多くの皆様のご協力により、施設や団体の利用者や家族、ボランティアなど総勢約500名が参加して一緒に楽しい1日を過ごしました。



長〜いじゃんけん電車

午前中は開会式の後、全員でじゃんけんをして、負けた人が勝った人の後ろにつながりじゃんけんを繰り返して、最後は長い電車のようになる「じゃんけん電車」と、毎年恒例の〇×クイズを行い、体を動かしながら遊びました。

お昼の休憩時間には、弘前市のマスコットキャラクター「たか丸くん」が会場を周りながら、参加者と一緒に記念写真を撮ってくれました。



息びったりのダンス

を受けていました。

毎年参加者が楽しみにしているリンゴミュージック所属の地元アイドル「ライスボール」のライブでは、ステージ上で元気に歌って踊るライスボールの皆さんに合わせて、参加者全員が一緒に体を動かして踊ったり、掛け声をかけるなどしてステージと一体となって盛り上がりました。

ラストは弘大囃子組による囃子演奏で、津軽の祭の聴きなれた笛や太鼓や鉦の響きを体を感じながら、みんなで大きな掛け声を出して楽しみました。お山参詣の囃子の演奏では、岩木地区から参加したボランティアの皆さんが飛び入りで踊りの参加をして、会場はますます笑顔いっぱい楽しい雰囲気につつまれていました。



囃子に合わせて踊りだす



暑さも吹き飛ばす「やーやどー！」

バリアフリーねぶた「弘前やーやどー会」



障がい児者とボランティアと一緒に地域の伝統的まつりである弘前ねぶたまつりに参加することにより、バリアフリーのまち弘前市を目指して行われている「弘前やーやどー会」が、9年目を迎える今年も弘前ねぶたまつり初日の8月1日に元気いっばいに出陣しました。

今年も障がい児者と家族18名、ボランティア10名、社協職員8名の計36名が、弘前市役所ねぶた実行委員会のご協力により同会のねぶた運行に参加しました。

出陣式の後出発場所へ移動し、大型ねぶたの前で全員で記念写真を撮影し出陣を待ちました。



みんなで記念写真

周囲が暗くなりいよいよスタート。当日は日中最高気温33度を超える真夏日となりましたが、ねぶたが動き出すと太鼓と笛の音に合わせて、「やーやどー」と暑さを吹き飛ばす元気な声をあげて全員で土手町を練り歩きました。沿道の観光客からはたくさんの声援や拍手が送られ、参加者も元気に手を振るなどして応えていました。運行が終わった後は、今年もみんなの顔に笑顔が溢れていました。

弘前市役所ねぶた実行委員会をはじめ、多くの皆様のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

令和元年度 事業計画 (抜粋)

重点目標 「すべての住民が共に生き、共に理解し、より豊かに生活できる福祉のまちづくりの実現」

1. 地域福祉活動及び在宅福祉活動の推進

- (1)地区社会福祉協議会会長会議の開催(年4回開催)
- (2)地区社会福祉協議会との協働
 - ①共通事業の推進
 - ・ほのぼの交流事業(対象者728名、協力員592名)
 - ・福祉安心電話サービス事業(2台設置、年度末台数205台、各種通報106件)
 - ・一人暮らし高齢者給食サービス事業(実施10地区、のべ142回実施、のべ2,555名参加)
 - ・除雪支援事業(対象924世帯、ボランティア1,236名、のべ実施回数9,121回)
 - ・住民福祉座談会(3地区開催)
 - ・敬老大会開催事業(対象26,855名、出席5,511名)
 - ・地域ふれあい交流会開催事業(実施18地区、のべ2,525名参加)
 - ②社会福祉協議会研修会の開催(75名参加)
- (3)愛の広場レクリエーションの集い開催(750名参加)
- (4)ふれあい相談所の開設(年間相談583件)
- (5)健康・生きがいづくり推進事業の実施(軽スポーツ大会4種目372名参加、研修5種目331名参加)
- (6)日常生活自立支援事業の推進(契約42件)
- (7)成年後見制度法人後見の受任開始
- (8)たすけあい小口資金の貸付
- (9)学習支援事業の実施(48回実施、のべ160名利用)
- (10)外出支援サービス事業(岩木地区のべ943名利用)

2. ボランティア活動の振興

- (1)弘前市ボランティアセンターの運営
 - ・ボランティア活動に関する相談受付等、福祉協力校(10校)の指定、善意物品の寄託と払い出し、ボランティア活動保険加入受付(1,016名)、フードバンク事業、ほか
- (2)研修、広報、及び啓発
 - ・さくらまつり車いす応援隊の実施(ボランティア109名、車いす介助87件、貸出1,132件)、バリアフリーねぶたの実施(障がい児者7名、ボランティア等19名参加)、福祉体験活動の実施、除雪ボランティアの募集育成、ほか

3. 社会福祉活動の啓発、普及、連絡

- (1)弘前市社会福祉大会の開催(600名参加)
- (2)広報誌の発行及びホームページでの情報提供
- (3)弘前市総合福祉作品展の開催(2日間、515名来場)

4. 身体障害者福祉センターの受託運営

5. 福祉人材バンク(弘前福祉人材無料職業紹介所)事業

6. 福祉サービス第三者評価事業の推進

7. 介護予防・日常生活支援総合事業

- (1)生活支援コーディネーターの配置
- (2)生活支援・介護予防サービス充実のための事業等
- (3)協議体(弘前市生活支援協議会)との連携

8. 屋内ゲートボール場「すばーく弘前」の事業推進

(開館日数359日、利用日数351日、利用者9,451名)

9. 法人の適正運営

- ・理事会、評議員会、監査会、部会の開催、会務運営、社会福祉センターの管理運営、共同募金運動・赤十字社員増強運動への協力、地域福祉活動計画策定、ほか ()内は30年度実績

平成30年度資金収支計算書 (自:平成30年4月1日 至:平成31年3月31日)

令和元年度資金収支予算書 (自:平成31年4月1日 至:令和2年3月31日)

(単位:円)

項 目	元年度予算	30年度決算	項 目	元年度予算	30年度決算
支 出			収 入		
人件費支出	144,788,000	147,070,929	会費収入	15,465,000	15,455,356
事業費支出	51,084,000	47,959,127	寄附金収入	2,760,000	2,246,889
事務費支出	11,080,000	9,802,024	経常経費補助金収入	137,843,000	135,891,096
貸付事業支出	570,000	165,000	受託金収入	57,266,000	54,794,257
共同募金配分金事業費	1,372,000	1,338,500	貸付事業収入	630,000	152,000
分担金支出	30,000	30,000	事業収入	2,775,000	3,789,790
助成金支出	33,176,000	31,293,410	受取利息配当金収入	186,000	176,755
固定資産取得支出	0	127,440	その他の収入	1,507,000	1,883,135
積立資産支出	1,121,000	1,212,014	基金積立資産取崩収入	26,000,000	0
その他の活動の支出	2,025,000	1,993,200			
支出計 ①	245,246,000	240,991,644	収入計 ②	244,432,000	214,389,278
予備費 ③	4,605,000	0			
当期収支差額 ④=②-①-③	△5,419,000	△26,602,366	前期末資金残 ⑤	7,362,000	39,355,566
当期末資金残 ⑥=④+⑤	1,943,000	12,753,200			
合計 ①+③+⑥	251,794,000	253,744,844	合計 ②+⑤	251,794,000	253,744,844

※令和元年度事業計画、平成30年度事業実績報告、決算書及び今年度作成の地域福祉活動計画は本会ホームページにも掲載されています。ホームページアドレス <http://www.hirosaki-shakyo.jp/>

会長に柳田光祥(みつよし)を再任

6月20日に開催した令和元年度定時評議員会において、任期満了に伴い新たに理事及び監事が選任され、同日開催の第58回理事会において会長に柳田光祥(みつよし)が再任されました。

副会長には今幸夫、山形正臣の両名が、常務理事には島浩之が再任されました。新理事・監事は次の方々となりました。

[]内は選出区分と人数、()内は所属団体及び役職等を記載しています。

◆理事12名：任期2年

[地区社会福祉協議会3名以内]

佐藤 信隆 (城西地区社会福祉協議会会長)

工藤 浩一 (文京地区社会福祉協議会会長)

川口 則雄 (岩木地区社会福祉協議会会長)

[社会福祉事業経営団体1名]

小林 大真 (社会福祉法人千年会理事長)

[社会福祉関係団体3名以内]

今 幸夫 (弘前市民生委員児童委員協議会会長)

山形 正臣 (弘前市町会連合会副会長)

相馬 齋弼 (弘前市老人クラブ連合会会長)

[医療機関1名]

梅村 芳文 (一般社団法人弘前市医師会監事)

[ボランティア団体1名]

安田 政英 (弘前市ボランティア連合会会長)

[学識経験者3名]

柳田 光祥 (弘前市社会福祉協議会前会長)

高木 弘子 (三大地区地域づくり連絡協議会事務局長)

島 浩之 (弘前市社会福祉協議会前常務理事)

◆監事3名：任期2年

[地区社会福祉協議会1名]

伊藤 禎春 (千年地区社会福祉協議会)

[社会福祉事業経営団体1名]

高橋 正安 (社会福祉法人七峰会常務理事)

[学識経験者1名]

千葉 瑞子 (税理士)

また7月23日に開催された評議員選任・解任委員会において、欠員となっていた評議員が4名新たに選任されました。

[1号評議員：地区社協及び地区民児協]

工藤 信行 (時敏地区社会福祉協議会)

小田桐恵美子(西地区社会福祉協議会)

三上 久志 (相馬地区民生委員児童委員協議会)

[3号評議員：社会福祉に関係のある公務員]

三上 誠 (弘前市福祉部生活福祉課長)

※敬称は省略させていただきました。

地区社会福祉協議会会長のご紹介

弘前市社会福祉協議会では、市内26の地区社会福祉協議会と連携・協働し、地域における支え合いのネットワークの充実・強化に取り組んでいます。

今年度の各地区社会福祉協議会の会長は次の皆さんとなっています。

[朝陽] 對馬 英紀	[一大] 木村 豊
[二大] 秋元 昭男	[三大] 藤本 了康
[和徳南] 伊藤薫(代行)	[時敏] 工藤 信行
[北] 毛内 初雄	[城西] 佐藤 信隆
[西] 清藤範十郎	[桔梗野] 月永 寛
[文京] 工藤 浩一	[和徳北] 館田 康雄
[清水] 近澤 玄一	[豊田] 阿保 敏秋
[堀越] 葛西 光治	[千年] 相馬 満敏
[藤代] 對馬 通好	[東目屋] 佐藤 豊
[船沢] 蒔苗 淳治	[高杉] 西川 孝
[裾野] 藤田 光弘	[新和] 増田 松雄
[石川] 金崎 昭範	[東] 船水 弘行
[岩木] 川口 則雄	[相馬] 大澤 昭夫

令和元年8月1日現在、[]内は地区名、敬称は省略させていただきました。

福祉の仕事相談フェアの開催

弘前福祉人材バンクでは、福祉の職場へ就職を希望する方等を対象に、福祉の事業所との個別面談や仕事に関する相談ができる「福祉の仕事相談フェア」を開催します。たくさんの参加をお待ちしています。

- ▶日時 令和元年9月24日(火)
13時15分～15時30分(受付12時30分)
事前申込は不要です。都合の良い時間にご来場ください。
- ▶場所 弘前医療福祉大学短期大学部2階生活福祉学科A・B教室(小比内3丁目18-1)
- ▶対象
 - ・福祉の職場へ就職を希望する方(来春卒業予定の学生も含みます)
 - ・福祉の仕事に関心のある方
- ▶内容
 - ・事業所によるプレゼンテーション
 - ・介護の魅力PRタイム
 - ・事業所との個別面談
 - ・福祉の仕事や資格取得等の相談受付
- ▶参加費 無料
- ▶その他 参加事業所は確定後ホームページに掲載します。<http://www.hirosaki-shakyo.jp/>
- ▶お問い合わせ「弘前福祉人材バンク」TEL.36-1830
宮園2-8-1弘前市社会福祉センター2階

令和元年度弘前市社会福祉大会

今年度の弘前市社会福祉大会が下記のとおり行われます。入場は無料です。たくさんの皆さんのご来場をお待ちしております。

- ▶と き 令和元年11月29日(金)
午後0時30分～4時予定
- ▶ところ 弘前市民会館大ホール
- ▶内 容 ①オープニングアトラクション
②福祉協力校活動体験発表
《発表予定校》第二中学校、城東小学校、自得小学校
③記念講演
④式典(永年社会福祉に貢献されてきた方々の表彰や寄付者への感謝状贈呈等を行います)

内容や順序は変更になる場合があります。また、会場駐車場に限りがありますので、自家用車での来場はご遠慮いただくようご協力をお願いします。

▶お問い合わせ先 地域福祉課 TEL.33-1161

弘前市総合福祉作品展

障がい児者や高齢者が制作した作品を展示し、地域住民の社会福祉に対する理解と認識の向上を図ること等を目的とした弘前市総合福祉作品展が次のとおり開催されます。

- ▶日 時 令和元年9月28日(土)、29日(日)
午前10時から午後4時まで
- ▶場 所 弘前市身体障害者体育館(八幡町1-9-17時敏小学校うら)隣接する弘前市社会福祉センターからも入場できます。
- ▶展示等 手芸、書道、絵画、工作、陶芸品などの展示のほか、毎年好評の農産物、加工品、お菓子などの即売も予定しています。
- ▶お問い合わせ先 地域福祉課 TEL.33-1161

ふれあい相談所のご案内

日常生活上の心配ごとや悩みごとの相談を受ける「ふれあい相談所」を開設しています。

(生活一般相談)

月～金曜日、午前9時30分～午後3時30分
電話での相談も可能です。(下記電話番号)

(専門相談(3種類))

①法律相談(弁護士)、②税務相談(税理士)、③年金等相談(社会保険労務士、労働関係の相談も可能)各毎月1回実施しています。(日時はお問い合わせ下さい)また、専門相談は事前予約が必要です。(予約時にお名前、連絡先、相談概要等をお聞きます)

- ◆お問い合わせ先(専門相談の事前予約含む)
弘前市社会福祉センター2階(宮園2-8-1)
「ふれあい相談所」 TEL.33-2220

ふれあい高齢者軽スポーツ親善大会

冬場の運動不足の解消と、参加者相互の親睦を深めること等を目的として、市内在住の60歳以上の方を対象にした、軽スポーツ親善大会を下記の日程で行います。たくさんのご参加お待ちしております。

1. ラージボール親善大会
〔期 日〕令和元年12月7日(土)
〔場 所〕弘前B&G海洋センター体育館
 2. グラウンドゴルフ親善大会※
〔期 日〕令和2年1月25日(土)
 3. ペタンク親善大会※
〔期 日〕令和2年2月15日(土)
 4. ゲートボール親善大会※
〔期 日〕令和2年3月14日(土)
- ※2～4の会場はいずれも弘前克雪トレーニングセンターとなります。

詳細は今後順次決定され、申し込み方法等は「広報ひろさき」および当会ホームページにも掲載予定です。詳細については、弘前市社会福祉協議会地域福祉課までお問い合わせください。

TEL.33-1161

赤い羽根共同募金運動スタート 今年もたか丸くんピンバッジが登場!

「赤い羽根共同募金運動」が、今年も10月1日から全国一斉にスタートします。

昨年度は弘前市全体で15,503,011円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

皆さんからの寄付金は、各種団体が県内各地域で行う福祉活動や、福祉施設の整備などのほか、一部は全国各地で大規模災害が発生した際、被災地域における災害ボランティア活動支援などに使われる、「災害等準備金」として積み立てて使われています。

昨年度大好評だった弘前市のマスコットキャラクター「たか丸くん」と赤い羽根がコラボしたピンバッジが、今年は「令和」バージョンとしてデザインも新たに登場します。(写真)



こちらは事務局窓口で500円以上募金にご協力いただいた方に1個お渡しします。バッジがなくなり次第終了とします。※お渡しの開始時期等については電話でご確認下さい。(TEL.33-1161)

今年も皆さんの温かいご理解とご協力をお願いいたします。